

Ruby for Sharp Linux Zaurus SL-C series

Hiroshi Maruyama

2006.12.25

警告

このパッケージは、オブジェクト指向スクリプト言語 **Ruby**^{*1} をシャープ Linux Zaurus シリーズで利用するため、個人的にクロスコンパイルしたものであり、必ずしも安定動作を保証するものではありません。この点を了解していただき、各自の自己責任のもとでご利用下さい。

1 コンパイルオプション

SuSE Linux 10.0 上でクロスコンパイルして作成しています。コンパイル時のオプションは下記の通りとなっています。

```
--prefix=/opt/QtPalmtop \  
--host=arm-sharp-linux-gnu \  
--mandir=$PREFIX/man --with-mantype=man \  
--enable-pthread --enable-shared \  
--disable-rpath --disable-ipv6
```

2 ライブラリ関係

インストールの簡便さとバイナリのサイズを考慮して、一部のライブラリはスタティックに組み込み、頻繁にアップデートされるものやセキュリティ性が重要視されるもの、他のパッケージからも利用されているライブラリに関しては、別パッケージとしています。

組込済みライブラリ

- gdbm 1.8.3
- readline 5.1

依存しているパッケージ

セキュリティ関係でアップデートされる可能性が高く、他のアプリケーションからも数多く利用されている OpenSSL^{*2} に関しては、スタティックに組み込んでいません。また、Bekeley DB に関しても同様です。ともに別途インストールする必要があります。

- OpenSSL 0.9.8d (openssl_0.9.8d-1_arm.ipk)
- Berkeley DB 4.2.52 (db_4.2.52-2_arm.ipk)

*1 <http://www.ruby-lang.org/>

*2 Ruby 1.8.5-1 公開時の 0.9.8c から 0.9.8d にアップデートされています。

3 インストール

Ruby のパッケージ本体の他に OpenSSL と Berkeley DB のパッケージをインストールする必要があります。コマンドライン上でネットワークインストール*³する場合は、

```
# ipkg update && ipkg install ruby
```

とすることで、Ruby 本体と依存しているライブラリのパッケージがインストールされます。事前にパッケージをダウンロードしてインストールする場合は、Ruby 及び OpenSSL と Berkeley DB をそれぞれダウンロードして、ipkg コマンドでインストールするか、“ソフトウェアの追加/削除”で各々をインストールしてください。

4 最新安定版

現在の最新版は **1.8.5-p12-1** です。

- ruby_1.8.5-p12-1_arm.ipk

5 一つ前の安定版

一つ前の安定版は **1.8.5-4** です。最新版と同様に OpenSSL(0.9.8d-1) をインストールする必要があります。*⁴

- ruby_1.8.5-4_arm.ipk

6 履歴

- * 1.8.5-p12-1 (2006-12-25)
Happy holiday with several backports.
- * 1.8.5-p11-2 (2006-12-22)
Berkeley DB required.
- * 1.8.5-p2-0 (2006-12-05)
new upstream with security fixes.
- * 1.8.5-4 (2006-11-02)
security fix(CVE-2006-5467).
- * 1.8.5-3 (2006-09-06)
backport from Ruby 1.8-stable, see ruby-dev 29505 and 29506.
- * 1.8.5-2 (2006-09-02)
- * 1.8.5-1 (2006-08-27)
a new upstream.

*³ Feed を利用する場合 (<http://www.focv.com/feed/>)。

*⁴ 最新版と違い、Berkeley DB のインストールは必要ありません。